

カンボジア王国中学校体育科教育指導書作成 支援・普及プロジェクト（2017年～2020年）

カンボジアの中学校に「新しい体育」を！

■ 実施団体：

特定非営利活動法人
ハート・オブ・ゴールド



■ 相手国：

カンボジア（教育省）

■ 協力内容：

- 体育科教育を教育課程の一環と位置付けるための指導書作成。
- 教育省等に対する研修実施。
- 体育教員に対する研修・モニタリング実施。

■ 団体のこれまでの取り組み：

- アンコールワット国際ハーフマラソン（1996年）を契機に、1998年に設立。スポーツを通じた国際協力活動を実施。
- 草の根技術協力等を通じて2006～2016年にわたり小学校および中学校体育の学習指導要領・指導書を作成。
- 2007年に学習指導要領、2014年に指導書、2016年には中学校の学習指導要領が教育省大臣により認定された。
- 岡山市や大学と連携し、カンボジア研修員の受け入れを10年間に亘り実施。

■ 事業実施の背景：

- 従来のカンボジアの体育では、スポーツや簡易体操を10-15分実施する程度で「態度・知識・技能・協調性」といった資質を学ぶことが設定されておらず、またそれらを学ぶための指導案等の書き方や教え方の手立ても示されていなかった。

カンボジアの課題と成果

課題① 学習指導要領は策定されたものの、統一性のない体育授業。

成果① 学習指導要領の解説書である指導書を作成。
→教育・青年・スポーツ省の大臣により2019年に認定され、政府公認に！

課題② 体育の授業の年間計画や指導計画の立て方が分からない教員が多い。

成果② 合計36回のワークショップを開催し、教育省の担当官や3州28のモデル校に対して、指導書の活用法や指導法を伝えた。
→モデル校の教員らの「新しい体育」の理解・実践力が大幅に向上し、体育の授業の年間計画や指導計画が立てられるように！

事業の波及効果



ニーズに即した協力の結果、 カンボジア教育省の主体性を醸成！

- 本事業で作成した指導書を高く評価した同国教育省が、独自に15,000冊の指導書を印刷・全国配布する予算を確保。全国の全中学校に配布された。
- プロジェクトマネージャーは体育分野では珍しい外国人アドバイザーに任命され、スポーツ総局長への政策面の助言、同国予算による日本での研修実施の企画・運営を行っている。
- 青年海外協力隊との連携による普及強化も行っている。